

## 平成 27 年度 都留市公立大学法人評価委員会会議の審議要旨

日 時 平成 27 年 7 月 6 日 (月) (午後 3 : 00 ~ 5 : 00)  
場 所 市役所 3 階大会議室  
出 席 者 原 護委員長、加賀 公英委員、小林 孝次委員、早川 源委員  
説 明 者 大谷理事長、福田学長、新保副学長、高部事務局長、  
(法 人) 谷内大学総務課長、斉藤大学経営企画課長、  
菊池大学学生課長、藤江大学総務課長補佐、  
田中大学経営企画課長補佐、小林大学学生課長補佐、  
大学総務課 相川、長坂 大学経営企画課 高山  
事 務 局 山口総務部長、紫村企画課長、山口企画課長補佐、  
企画担当 笠井、佐藤、山口

### 会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 議題
  - (1) 平成 25 年度評価を反映した事業改善等の状況について
  - (2) 平成 26 年度法人の業務実績に関する評価について
  - (3) 平成 26 年度財務諸表の承認にかかる意見について
  - (4) その他
- 5 閉会

### 会議の概要

(午後 3 時開会)

- 1 開会
- 2 あいさつ 堀内市長、大谷理事長
- 3 委員紹介
- 4 議題 評価委員会条例より議長は原委員長とする。
  - (1) 平成 25 年度評価を反映した事業改善等の状況について
  - (2) 平成 26 年度法人の業務実績に関する評価について
  - (3) 平成 26 年度財務諸表の承認にかかる意見について
  - (4) その他

(1) 平成 25 年度評価を反映した事業改善等の状況について

○法人事務局

大学事務局が、平成 25 年度評価委員会において指摘された事項について、事業改善等の状況を説明。

○各委員からの意見等

- ① 社会学科、比較文化学科のカリキュラム・マップの作成が遅れているが、学生や学ばせている保護者へのイメージは良くない。大学が淘汰されていく時代の中で、幅広く豊かな知識を得られるカリキュラム・マップの作成に着手していただきたい。
- ② 教育の現場で実践的・社会的コミュニケーション能力の育成を図るために社会経験の豊富な方の講演会の開催や、学生に対し人を前向きに成長させる言葉を教え込む学習を検討してもらいたい。

○議長

「平成 26 年度の業務評価に関する評価」と併せ、これまでの実績、課題を踏まえた中で、第 2 期中期目標、中期計画の目標達成に繋げていくことを期待している。

(2) 平成 26 年度法人の業務実績に関する評価について

○法人事務局

平成 26 年度における法人の業務実績について説明。

○各委員からの意見等

- ① 他大学との留学生交流がなかなか進んでいないという評価だが、今後とも国際交流が図れるように都留文科大学の周知活動等に励んでいただきたい。また昨今の理系学部が増えていく流れの中で、生徒数を確保するためにも初等学科の英語学習の実施のような特色性のあるカリキュラムと、基礎的な教養科目の充実を図っていただきたい。
- ② 大学入学者の基礎学力が下がってきていると聞くが、アカデミックスキルズのように入学者が大学の授業についていけるような取り組みを継続して行っていただきたい。
- ③ 地域に根差した大学であるために、地域への貢献、また地域の学校で大学生に学ぶ機会を与えるために、市や教育委員会等に大学側からの要望を積極的にお願いしたい。

○議長

平成 26 年度の事業評価は、第 1 期中期目標期間の集大成ともいえる評価であり、本

年度からの第2期中期目標、中期計画の達成に向けた、分析や検証の必要がある。

第2期中期目標の前文にもあるとおり、将来にわたって学生から選ばれる「魅力あふれる大学」であり続けるには刻々と変化する社会情勢を敏感に感じ取る中で、不断の自己改革を実行しなければならない。さらに、今後計画されている新学科の設置や、都留市版CCRCの実現に向けては、同時にスピード感が求められる。第1期中期計画において、あまり進展や改善が図れなかった項目と併せて、PDCAサイクルを意識しながら、スピード感を持った対応をお願いする。また、基本目標に掲げた教員養成系大学としてのブランド力の強化を図りつつも、大学運営の成果として大きなウエイトを占め、学生が大学を選ぶ重要な基準である「就職率の向上」に向けて、幅広い職業に対応できる就職支援の取り組みを進めていただくようお願いしたい。

○議長

大学の自己評価と実状の差異について、卒業生調査の分析結果については分析が未実施となっているので評定「3」を「2」に下げ、「年度計画はやや未達成」と判断する。アカデミックスキルの増クラスについては、検討に留まらず、2クラス増まで実施できていることから、評定「4」を「5」に上げ、「年度計画を十二分に達成」と判断する。大学施設整備計画の策定については、構想はあるものの計画は着手した段階であることから、評定「4」を「3」に下げ、「年度計画を概ね達成」と判断する。教員養成大学としての個性化の促進に関する計画については、具体案として国際教育学科の設置に向けた取り組みを進めているので評定「2」を「3」に上げ、「年度計画を概ね達成」と判断する。以上を変更すべきと判断するがいかがか。

○委員 全員了承

○議長

その他の項目については、第2期中期目標、中期計画の実現に期待し、現状の評価でよいとの判断として良いか。

○委員 全員了承

○議長

なお、第1期中期目標期間中に進捗が図れなかった取り組みについては、第2期中期目標、中期計画に基づく中で、早急な対応を求めるものとして意見することとする。

○議長

全体評価については、法人より提出された自己評価による事業報告書では、総合的

な全体評価として【中期計画の進捗が順調である】旨のAとなっており、本日の説明からでも明らかであるように、一部に進捗の遅れはあるものの、おおむね順調に推移したことから、法人の自己評価を尊重した評価として取りまとめることとしてよろしいか。

○委員 全員了承

(3) 平成 26 年度財務諸表の承認に係る意見について

○法人事務局

会議資料 2 平成 26 年度財務諸表、会議資料 3 平成 26 年度決算報告書についてそれぞれ説明。

○各委員からの意見等

特に意見なし。

○議長

「特に意見なし」として意見を取りまとめてよろしいか。

○委員 全員了承

(4) その他

○事務局 今後の日程について報告

評価結果（案）については、原案として法人へ通知し、法人の意見を求めた上で、評価結果書として確定することとなる。その後、確定した調査結果書は、「財務諸表に関する意見書」と併せて、市長に報告し、報告を受けた市長は 9 月定例市議会へ報告する。

次に第 1 期中期目標期間終了に伴う 6 年間の総評価についても会議を同様に実施する。事務局と大学法人、委員の方々と調整したところ、8 月 4 日（火）に開催することになったので承知されたい。

○議長 本日の議題はすべて終了したので、これをもって会議を閉会する。

5 閉会

(午後 5 時閉会)